

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 八王子セブクラブ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

精神障がい者が社会復帰を目指す会として、レクリエーションではない競技としてのスポーツ活動の場を作る事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

精神障がい者が本格的な競技スポーツを行なおうとしても、そのような活動の場は東京においては全くありません。病院のデイケアや作業所のプログラムで行なうレクリエーション活動はありますが、全国障がい者スポーツ大会などスポーツ競技大会を目指した活動を行なえる場を作る事が会の目的です。毎年行なわれる障がい者スポーツ大会を主に、競技としての障がい者スポーツは注目されつつあり、競技者人口も年々増え、私たちの取り組みは東京都に限らず、他府県からも注目され、問い合わせなど多くあります。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

競技スポーツとして、講師による技術指導を受ける。

他府県で障がい者スポーツ活動を活発に行なっているチームとの交流を持ち、技術の向上を目指すとともに、今後のチーム活動にも生かせるような体験を持ち帰ります。他府県へ遠征する事は、公共の交通機関を利用し宿泊するなど、精神障がい者にとって苦手とする課題が多くあります。このような個々の障がいを克服するための訓練の場としても活用します。そして、一年間を通して目的を持った活動をやり遂げることは、メンバーにとって大きな自信を持つ事が出来るようになり、これが社会復帰につながる道筋になっています。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

この度のプロジェクトにより、当事者の交通費負担などが軽減でき、遠方での競技大会への参加者が大幅に増えました。このことにより、当事者にとって貴重な体験が数多くできました。他府県で活動している精神障がい者との交流や、大会で日ごろの力を発揮したことにより自信を持つようになった当事者が増えました。私たちの活動は、障がいを克服し社会復帰を目指していますが、大会への参加が多く出来たことにより、就労への取り組みを始めた当事者も増えました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

この度のプロジェクトにより、精神障がい者が競技スポーツに取り組み、技術指導を受けたことによって、技術が向上し、大会での結果を残すことが出来ました。また遠方での大会にも積極的に参加する事が出来、他府県で活躍する精神障がい者との交流を持つことが出来ました。このすべての活動が、精神障がい者にとって大きな自信になり、社会復帰に向かって前向きに進む事が増え、参加した当事者の多くが一般就労や障がい者雇用枠での就労に取り組むようになりました。スポーツ活動が、社会復帰へつながっていくと確信しています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

